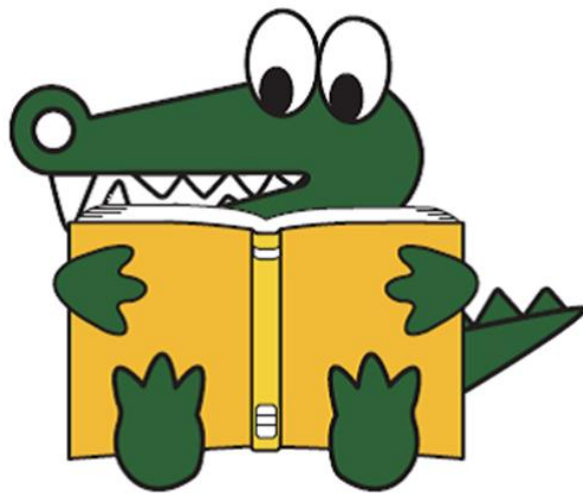


豊中市の図書館活動 I

— 報 告 —

令和5年度（2023年度）版



豊中市立図書館

目次

はじめに	1
図書館の使命と理念 基本目標.....	2
1. 数値で見る令和5年度の豊中市立図書館のすがた.....	3
2. 令和5年度 トピックス	4
◆（仮称）中央図書館の第一優先候補地を選定	4
◆ 豊中駅図書サービスポイントを開設	4
◆ 「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～」を試行	4
◆ 東豊中図書館に飲食可能スペース「もぐもぐ広場」を開設.....	5
◆ 野畑図書館に自学自習スペースを開設.....	5
3. 地域・市民との協働	6
◆ しょうないREK（R：リサイクル E：イベント K：瓦版[情報]）	6
◆ 千里文化センター「コラボ」	7
◆ 北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～	7
◆ 関係団体一覧	8
◆ 市民との取り組み事業	9
4. 子ども読書活動推進計画	10
5. 事業報告	10
◆ 個人貸出サービス	10
◆ 高齢者サービス	11
◆ ヤングアダルト（YA）サービス	12
◆ レファレンスサービス	13
◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）	13

◆ 暮らしの課題解決	14
◆ 団体へのサービス	15
◆ 障害者サービス	17
◆ 図書室	17
◆ 図書サービスポイント	17
◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス	18
◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」	19
◆ 資料の収集と保存	19
◆ 人権・平和に関する取り組み	19
◆ 研修	21
6. 情報発信（広報・広告など）	22
7. 職員による出前講座・講師派遣、視察	24
8. 図書館協議会	25
9. 図書館評価	25
10. とよなかブックプラネット事業	26
11. （仮称）中央図書館基本構想	26
施設案内	28

はじめに

豊中市立図書館の令和5年度（2023年度）の活動状況をまとめました。

令和5年度（2023年度）の活動を振り返ってみますと、前年度3月に策定した「豊中市立図書館みらいプラン」を推進する1年となりました。

まず、「豊中市立図書館みらいプラン」で公表した（仮称）中央図書館の3つの候補地について、「豊中市（仮称）中央図書館第一優先候補地選定委員会」で調査審議し、阪急電鉄宝塚線曽根駅前の民有地を第一優先候補地として選定しました。

次に7月には、これまで来館者アンケートなどで要望がありました、自学自習スペースを野畑図書館2階に、飲食スペース「もぐもぐ広場」を東豊中図書館に開設しました。さらに、9月からは岡町、千里、野畑図書館で「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間」を開始、2月には利便性の高い交通結節点である豊中駅に「図書サービスポイント」を新設、これまで利用が難しかった人への利用促進を図りました。

利用状況については、空調設備工事のため岡町・野畑図書館ではすべてのサービスを提供できない時期がありましたが、予約資料をお渡しするサービスを実施したことで、貸出冊数は減少したものの資料提供サービスを全館で継続することができました。レファレンスサービス（調査回答業務）では、国立国会図書館のデータベースと連携する当市の調査事例に約77万件のアクセスがあり、市民の問いが共有・活用され学びの支援につながっています。

このほか、図書館協議会では「豊中市立図書館の多文化共生サービスのあり方」をテーマに審議し「読書バリアフリー」などこれまでの意見書とともに（仮称）中央図書館のサービスに活かしていきたいと考えております。

今後も、図書館関係団体をはじめ、来館者・非来館者のご意見を幅広く伺いながら、「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」に掲げる新たな図書館ネットワーク網、サービスの構築を目指し、また図書館が暮らしや仕事に役に立つ身近な存在として、地域の情報拠点の役割を果たせるように職員一同取り組んでまいります。

令和6年（2024年）9月

豊中市立岡町図書館

館長 西口 光夫

図書館の使命と理念 基本目標

<公共図書館の使命・理念>

- ・ 多様な資料や情報を収集・保存し提供することによりすべての市民に知る機会を保障します。
- ・ 民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- ・ 市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

<豊中市立図書館の使命・理念>

- ・ 豊中市立図書館は「ユネスコ公共図書館宣言」・「図書館法」・「図書館の自由に関する宣言」に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- ・ 豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- ・ 豊中市立図書館は、教育・文化・情報・社会参加の機関としてその任務を果たすことを使命とします。

<豊中市立図書館の基本目標>

1. 図書館活動全般を通じて教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより、市民生活に密着した、より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人間的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. 「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等誰もが利用しやすいよう、情報提供を進め読書環境を整備し、すべての人が共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら、「豊中市市民公益活動推進条例」等を踏まえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。

1. 数値で見る令和5年度の豊中市立図書館のすがた

人	口	398,087 人
個人登録者数		132,247 人
個人貸出冊数		3,335,995 冊
団体貸出冊数		119,605 冊
貸出人	数	970,016 人
予約（受付）件数		1,078,403 件

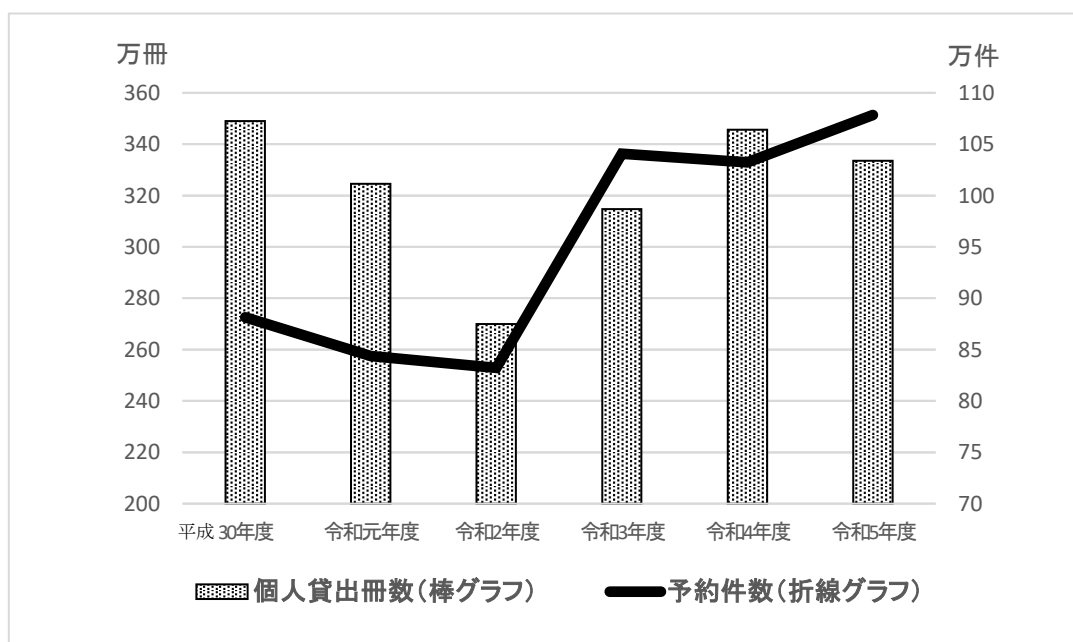
調査相談件数	93,434 件
年間利用者数（入館者数）	1,550,428 人
職員数（うち常勤）	107（39）人
蔵書冊数	991,884 冊
年間受入冊数	42,637 冊
図書購入費	63,184,199 円

※貸出冊数は継続を含む

※年間利用者数（入館者数）は図書室・サービスポイント・動く図書館含まず

- ◆ 市民1人あたりの 図書購入費は 159 円 （電子書籍を含むと 198 円）
蔵書数は 2.5 冊 （電子書籍を含むと 2.5 冊）
貸出冊数は 8.4 冊 （電子書籍を含むと 8.4 冊）
- ◆ 開館日1日あたりの来館者数は 5,612 人 図書室・サービスポイント・動く図書館含まず
- ◆ 利用者登録率は 33.2%
※登録率…平成17年度より有効期間5年の更新処理を実施
- ◆ 蔵書回転率は 3.4 回
※蔵書回転率…一冊の蔵書が平均何回貸し出されたかを示す

<個人貸出冊数および予約件数の推移>



2. 令和5年度 トピックス

◆（仮称）中央図書館の第一優先候補地を選定

令和5年3月「豊中市立図書館みらいプラン」で公表した（仮称）中央図書館の3つの候補地について、「豊中市（仮称）中央図書館第一優先候補地選定委員会」で調査審議し、阪急電鉄宝塚線曽根駅前の民有地を第一優先候補地として選定した。

◆ 豊中駅図書サービスポイントを開設



豊中駅図書サービスポイント

令和6年2月に豊中駅図書サービスポイントを阪急電鉄宝塚線豊中駅舎内の北改札口前に開設した。予約資料の受取と資料の返却に特化したサービスを提供し、火曜日から金曜日は10時から20時まで、土曜日と日曜日は10時から17時まで開館している。図書館職員は常駐せず、利用者はセルフ貸出機を使っての利用となる。資料の返却は24時間可能である。

図書サービスポイントを利便性の高い交通結節点に設置することで、図書館を利用していなかった人や利用が難しかった人の利用が促進された。

◆ 「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～」を試行

令和5年9月より「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～」の試行を開始した。実施館は岡町、千里、野畑図書館の3館。月に1回午前に2時間、保育士が子どもを預かることで子育て中の方がゆっくりと館内で本を選んだり、読書を楽しんだりするなど、一息つける時間をサポートしている。対象は生後7か月から未就学児、定員は各回4～8人、保育料は550円（税込）。

利用者からは「子どもが生まれてから久しぶりにゆっくり読書ができた」「育休中に資格を取ろうと思い、勉強のために利用した」などの声が寄せられており、読書に親しむ時間になっているとともに、来館するきっかけにもなっている。

令和6年3月からは、キャッシュレス決済への対応も開始している。

試行開始から3月までの申込者数は592人、保育利用者数は72人。申込者のニーズに応えるため、令和6年度からは保育士を増員し、受入人数を拡充する。



図書館で一時保育

◆ 東豊中図書館に飲食可能スペース「もぐもぐ広場」を開設

令和 5 年 7 月に飲食可能スペース「もぐもぐ広場」を東豊中図書館の集会室に開設した。小さなお子さんも利用しやすいよう靴を脱いで座れるスペースとローテーブルを設置し、東豊中図書館の開館時間中に誰でも利用できる。



もぐもぐ広場

親子連れや子どもを中心に利用されており、開設から 3 月末までの利用は、大人 530 人、子ども 772 人（延べ人数）となっている。土曜日や日曜日のお昼時には親子の利用が、平日の夕方は子どもの利用が多い。また、図書館フロアの延長として本を読んでいる人も見受けられる。

令和 6 年 1 月には利用に関するアンケートを実施。利用実態の把握につとめるとともに、レイアウトの変更など、運用の改善をおこなった。

◆ 野畑図書館に自学自習スペースを開設

令和 5 年 7 月に野畑図書館 2 階の参考室を、参考図書コーナーとして 1 階へ移設した。参考図書、新聞のバックナンバーや住宅地図を 1 階へ移設し、複写（コピー）サービスの利用も 1 階カウンターで受け付けることで、利用者の利便性を高めた。

それにともない、2 階の元参考室を自学自習スペースとする機能変更をおこなった。以前は、2 階ロビーを自習コーナーとしていたが、その際の吹き抜けや集会室の前であることによる空調や採光、騒音の問題が今回の移設により解消された。利用者層は小学生から高齢者まで幅広く、7 月の開設から 9 か月間で延べ 5,500 人以上の方に利用されている。



自学自習スペース

3. 地域・市民との協働

豊中市立図書館は、子どもの読書活動推進・障害者サービス・多文化サービスなど市民との協働によって、さまざまな分野の事業に長年取り組んできた。豊中市における子ども読書活動は、「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」や「おはなしボランティアポケット」のほか、市民とともに築き上げてきたものである。また障害者サービスでは、市民グループによる点字図書・録音図書・さわる絵本の製作や対面朗読などにより、目や体の不自由な人の読書環境を整備してきた。

令和5年度は、おはなし会・ブックススタート事業「えほんはじめまして」のスタッフミーティング・障害者サービス（対面朗読・音点訳図書製作）・しょうない REK・北摂アーカイブス事業・図書館サポーターの活動・ヤングアダルトサービスなどにおいて、協働による取り組みを進めた。

図書館は、資料・情報と人をつなぐ役割を基盤に、人と人、地域や組織がつながるすべての人にとっての「わたしの図書館」であることをめざしている。協働により市民感覚を事業に反映し、地域に根ざした図書館活動につなげていく。

◆ しょうない REK（R：リサイクル E：イベント K：瓦版[情報]）

正式事業名：「多世代交流等のための場づくりと庄内コラボセンターの賑わい創出に関する事業」

「庄内コラボセンター」の新規開設とともない、しょうない REK は令和4年度協働事業市民提案制度の採択を受けた「多世代交流等のための場づくりと庄内コラボセンターの賑わい創出に関する協定」を市と締結し、庄内コラボセンターを活動拠点としている。令和5年度は、庄内コラボセンターでの活動について話し合う「ショコラひろば会議」を全11回おこなった。

令和5年度の出張販売（古本市）は、「動く図書館@植物園～みどりのライブラリー～」（服部緑地都市緑化植物園）、毎年好評の「とよなか市民環境展2023」（市立豊島体育館）のほか、庄内コラボセンターで開催された「ショコラ REK 夏まつり」や「ショコラフェスタ」「キッズランド in ショコラ」など新しい活動拠点での開催が増え、多くの来場者でにぎわった。

図書館リサイクル本の常設販売は、大きな壁面書架が人目を引く庄内コラボセンターでの販売が定着した。火曜日と土曜日の週2回から10月以降は REK カフェ営業日での販売が通常となり、前年の年間21回から84回へ販売回数が増加、年間の販売冊数も増加した。しょうない REK の販売活動が定着し、販売ボランティアと購入者との交流もよく見られる光景である。常設販売の拡大版イベント「年に一度の在庫市」も、庄内コラボセンターでのイベント「キッズランド in ショコラ」参加企画として開催した。



庄内コラボセンター1階・REK カフェ

◆ 千里文化センター「コラボ」

5つの施設（公民館・図書館・介護予防センター・市役所出張所・保健センター）がひとつの建物に集まる利点を生かし、行政サービスや文化活動を通じて多くの市民が利用・交流する、市民と行政の協働の場をめざしている。図書館もその一翼を担い、千里文化センター事業などに関わっている。

「コラボまつり」は年に一度、市民の活動発表・作品展示、コラボ内施設の催しなどを実施しているが、令和5年度はコロナ禍前の規模に戻した形での開催となり、千里図書館でも職員および千里ストーリーテリングの会によるおはなし会や、千里青雲高校図書委員によるおすすめ本のPOP展示をおこなった。

また、千里公民館との共催で映画会「コラボ・de・シネマ」を実施、「ランチタイム・ロビーコンサート」のプログラムにあわせた関連資料の提供や図書館での展示もおこなった。

◆ 北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～

市民ボランティア「地域フォトエディター」とともに地域の記録（写真）を収集・デジタル化し、キャプションをつけて Web 上で公開している。図書館は北摂アーカイブス事務局として市民とともに活動している。

令和5年度は、地域フォトエディターによる講演会「豊中のお地蔵さま」と「北摂アーカイブス写真展」を岡町図書館で開催した。また、新たに千里地域の写真1,000枚をWebサイトに公開、千里ニュータウン開発初期の1963年頃から2017年頃までの「変化する過程」が楽しめる内容になっている。

また、令和4年におこなったワークショップ「図書館員の未来準備」の中での講演「『地域の記憶を地域の記録へ』地域住民と歩む北摂アーカイブスの取り組み」が『図書館とコミュニティアセット』（未来の図書館研究所、2023）として令和5年5月に出版された。



講演会「豊中のお地蔵さま」の様子



千里ニュータウン開発当時の写真

<https://hokusetsu-archives.jp/cms/>

◆ 関係団体一覧

子どもの読書支援	高齢者・障害者読書支援
<子ども文庫> *おひさま岡町文庫 *おひさま文庫 *きずなの里文庫 *くれよん文庫 *Kei おばさんの本の部屋 - 月よう文庫 *そよ風文庫 *つみ木文庫 *仲よし文庫 *にじいろ文庫 - はんぶんぶんこ - まめぶんこ - ゆめのき文庫 (*印は豊中子ども文庫連絡会加入文庫)	大阪声のグループ 豊中点訳会 グループ・エコー さわる絵本 かすみ草
	多文化読書支援
	国際交流の会とよなか (TIFA) おかまちおやこでにほんご (2024.4より「おかまちおやこ」) しょうないおやこでにほんご (2024.4より「しょうないおやこ」) せんりおやこでにほんご (2024.4より「せんりおやこ」) せんりにほんご
	読書会
	つぐみ読書会 とよ読書会(豊中市立図書館利用者の会) 豊中読書会 原田読書サークル 木よう読書会
	朗読グループ
	草の実会
	その他
おはなしボランティアポケット 豊中紙芝居の会 千里ストーリーテリングの会 野畑おはなしの会 おはなしたまてばこ おはなしたんけんたい 紙芝居クラブともだちや	豊中図書館の未来を考える会 しょうない REK 北摂アーカイブス 赤ちゃんからの ESD 千里ネイチャークラブ

◆ 市民との取り組み事業

事業名	団体名	開催数 (日数)	実施館
子ども読書活動連絡会	子ども読書活動連絡会委員	2	岡町
子どもと本のつどい（講演会・原画展）	豊中子ども文庫連絡会	11	岡町
子どもと本のまつり		1	岡町
豊中子ども文庫連絡会例会 等		11	岡町
おはなし会がやってきた	ミックス JAM・おはなしボランティアポケット	2	岡町
おはなしボランティアポケット例会 等	おはなしボランティアポケット	9	岡町
人権講演会		1	岡町
子どもと本をつなぐボランティア講座		6	岡町
おはなし会 等		30	岡町
		13	庄内
		23	服部
		10	高川
		12	螢池
おはなしたっぷり	おはなしボランティアポケット・ストーリーテリングの会	8	岡町
ときどきおはなし会 等	千里ストーリーテリングの会	12	千里
おはなしたんけんたい	おはなしたんけんたい	48	東豊中
朗読サロン	朗読グループ「草の実会」	1	東豊中
おはなしプレゼント（定例会）等	野畑おはなしの会	26	野畑
冬のおたのしみ会	Kei おばさんの本の部屋	2	野畑
ブックスタート事業「えほんはじめまして」スタッフミーティング・研修・懇談会	豊中子ども文庫連絡会・おはなしボランティアポケット・登録ボランティア	2	岡町
ショコラ広場会議 等	しょうない REK	11	庄内
古本市（とよなか市民環境展・夏まつり等）		5	庄内
リサイクル本コーナー		84	庄内
図書館サポーター	登録ボランティア	31	庄内
		14	野畑
北摂アーカイブス例会 等	北摂アーカイブス	12	岡町
北摂アーカイブス写真展		3(27)	岡町
音訳ボランティアフォローアップ講座（含：選定会議）	グループエコー・大阪声のグループ 等	3	岡町
おかまちおやこでにほんご	おやこでにほんご	35	岡町
しょうないおやこでにほんご		23	庄内
せんりおやこでにほんご		36	千里

せんりにほんご	せんりにほんご	18	千里
YA ボランティア活動	や~YAらぼ	10	千里
千里親子ふれあい広場	赤ちゃんからの ESD	4	千里
たかがわ地域子ども教室	千里ネイチャークラブ	8	高川
野畑地区人権講演会	野畑公民分館・野畑小学校 PTA・野畑地区人権協議会	1	野畑

4. 子ども読書活動推進計画



第2回子ども読書活動連絡会

「第2期豊中市子育て・子育て支援行動計画 こどもすこやか育みプラン・とよなか」に継承した「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念に基づき、関係部局・施設・団体・市民と連携しながら、子どもの読書環境の整備と読書活動の推進に取り組んでいる。

令和5年度は子ども読書活動連絡会を2回開催。第1回は、「いつでもどこでもだれにでも～『りんごの棚^{*1}』貸出セット～」について岡町図書館司書による解説と資料の展示、また「2023年度とよなかこども読書マップ」の更新をおこなった。第2回は、「さわる絵本かすみ草^{*2}」の活動報告と、さわる絵本のさわり読み体験で、多様なニーズに応じた資料を実際に見て

触れ、理解を深める事ができた。連絡会での各委員からの情報提供により、貴重な情報交換の機会となった。

今後も子ども読書活動連絡会の協力体制のもと、子どもの読書活動の推進に取り組む。

*1 スウェーデン生まれの「特別なニーズのある子どもたちのための資料を展示した棚」。すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうことが目的で、世界各地に広がっている。

*2 見えない見えにくい子どもが、絵本を楽しむことができるようにと、様々な素材や理解しやすい形で表現する「さわる絵本」を製作。さわる立体教材も製作している市民グループ。

5. 事業報告

◆ 個人貸出サービス

<貸出室・一般図書コーナー>

令和5年度の個人有効登録者数は2.4%減少。継続貸出を除いた成人書の個人貸出冊数は1.8%減少。年齢別貸出人数（15歳以上）は0.8%減少している。個人予約件数は5.0%、Webサイトでの予約は6.0%増加した。これらの要因としては岡町、野畑図書館の空調更新工事などによる休館の影響が考えられる。

電子書籍の貸出サービスについては雑誌や児童向けの読み放題のサービスを開始、コンテンツの充実につとめた。

- 登録率 33.2% ■個人有効登録者数 132,247 人 ■年齢別貸出人数（15 歳以上）814,315 人
- 継続貸出を除く個人貸出冊数（成人書）1,641,699 冊 ■個人予約件数 1,000,582 件
- 個人予約件数（Web+携帯）858,982 件 ■個人予約件数（館内）141,600 件
- デジタル図書館貸出冊数 14,339 冊

<こども室・児童書コーナー>

14 歳以下の個人有効登録者数は 4.7%の減少、年齢別貸出人数は 5.7%減少した。また、児童書の貸出冊数は 5.5%の減少、個人貸出冊数は 5.7%減少した。

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症になったことにより、コロナ禍で休止、縮小していた催しや他部局、機関との連携事業を再開した。

具体的には、保健師と実施する「すくすくあかちゃんタイム」（岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、服部、高川図書館で実施）、歯科衛生士と実施する「食育コラボみんなでは・は・は」（岡町、庄内、野畑、東豊中、高川図書館で実施）のほか、各館の定例おはなし会も制限をなくして実施した館が多かった。

新たな取り組みとしては、高川図書館で夏休みに「読書感想文おたすけシート」を作成し、館内および庄内公民館主催の学習サポート会で配布した。3 月には財務省近畿財務局の職員を講師として招き、「子育て世代のマネー講座」「親子で楽しく学ぶ おこづかい講座」を開催した。千里図書館では「読書の秋 せんちゅうパルの BOOK WEEK」（せんちゅうパル主催、千里文化センター「コラボ」・千里図書館共催）の一環で、千里文化センター前の広場において「あおぞらおはなし会」を実施した。

また、岡町図書館と東豊中図書館に、靴をぬいで親子で一緒に本を読んだり、ゆっくり過ごせる「乳幼児スペース」を設置した。

連携行事としては、人権政策課と共催で絵本作家・長谷川義史さんによる人権講演会の開催や、「コラボまつり」でのおはなし会の実施、ゆめのき文庫主催行事への参加をおこなった。

- 個人有効登録者数（14 歳以下）20,131 人
- 年齢別貸出人数（14 歳以下）155,701 人
- 継続貸出を除く貸出冊数（児童書、団体含む）1,201,824 冊
- 継続貸出を除く個人貸出冊数（児童書）1,122,809 冊

◆ 高齢者サービス

令和 3 年 3 月に図書館協議会から提出された「豊中市立図書館における高齢者サービスのあり方について（報告書）」を踏まえ、高齢者が社会、地域とつながり、人生をより豊かに生きる社会の実現に向けて、以下のように取り組んできた。

施設的环境面では階段・手すり設置などの施設のバリアフリー化、車いすの貸出、血圧測定器の設置、老眼鏡・リーディングルーペ・拡大読書器の貸出、耳が不自由な方への磁気ループの設置など、各図書館の施設環境に応じて整備・提供している。また、市内を巡回する動く図書館には、車いす用電動リフトを搭載している。

図書館資料としては大活字本や朗読 CD・朗読カセットテープを所蔵。庄内図書館の「シニアライフ応援コーナー」、螢池図書館の「人生 100 年



高齢者施設向け団体リサイクル

を考えるコーナー」、岡町図書館の「医療・健康情報コーナー」では高齢者のニーズが高い資料を 1 か所に集約し、探しやすい資料配置としている。また、市内の高齢者施設 11 団体にリサイクル図書 886 冊を譲渡した。施設職員や読み聞かせボランティアによって高齢者向けのおはなし会が行われている施設もあり、図書館資料を提供している。

連携事業としては各図書館(岡町・庄内・千里・野畑・東豊中)で、長寿安心課および豊中市キャラバン・メイト連絡会と共催し、「認知症サポーター養成講座」を 5 回実施した。同講座では関連図書の展示・貸出や、図書館職員による医療・健康情報のメディアリテラシーについての啓発活動もおこなった。高川図書館では緑地地域包括支援センター高川分室との共催で月 1 回認知症予防のための「高川ほっと愛カフェ」を実施。8 月には小学生対象の「認知症サポーター養成講座」を開催、11 月には認知症の高齢者の人権に関する図書の展示をおこなった。庄内図書館では庄内公民館と連携し、高齢者の参加が多い公民館講座で図書の展示・貸出とブックリストの配布をおこなった。また庄内介護予防センターとの共催で「とよなか健康大学卒業生トーク会：テーマ認知症」を 1 月に実施し、卒業生による高齢者の健康についてのおはなし(学習の成果発表)の機会を提供した。

そのほかの取り組みとして、庄内図書館では図書館サポーターとして高齢者の参加もあり、本の修理や装備などに意欲的に取り組む姿が見られた。



認知症サポーター養成講座



庄内図書館×庄内介護予防センター
連携イベント

◆ ヤングアダルト (YA) サービス

ヤングアダルト (YA) とは、主に中学生・高校生 (12~18 歳) の世代をさす。



第七中学校美術部員による
「ヒトハコ図書館」展示

庄内図書館では第七中学校美術部員による「ヒトハコ図書館」展示をおこなった。千里図書館ではYAらぼ (YA 世代のボランティア) の活動として、イベント補助やおはなし会に参加した。野畑図書館では中学生のおすすめ本リスト「中学生のおすすめ続々」や本の紹介 POP 展示を学校図書館と連携しておこなった。

■ 個人有効登録者数 (12~17 歳) 14,344 人 (18~21 歳) 5,407 人

■ 年齢別貸出人数 (12~17 歳) 44,620 人 (18~21 歳) 11,239 人

おもな取り組み	実施館
高校情報パンフレット展示と配布	全館
豊中高校ボランティア「志学」の受け入れ	岡町、庄内、東豊中図書館
中学生職場体験学習おすすめ本 POP 作成・展示	岡町、庄内、千里図書館
とよなか男女共同参画推進センターすてっぷとの連携展示「なりたいきもち」が未来をつくる	岡町、千里図書館

◆ 暮らしの課題解決

図書館では市民生活のうえで特に関心の高い課題として、4つのテーマ「医療・健康情報（岡町）」・「多文化共生（庄内）」・「ビジネス・就労（千里）」・「子育て・DV（野畑）」を設定している。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、集会の催しも再開されるようになった。各テーマにそった資料収集や情報提供などを引き続き工夫しておこなった。

各テーマごとの取り組み（市民協働事業については別途掲載 9 ページ）	
医療・健康情報	<講座・関連資料の展示・貸出・調べ方案内> ○認知症サポーター養成講座（5回 会場：岡町、庄内、千里、野畑、東豊中図書館 共催：長寿安心課・豊中市キャラバンメイト連絡会） ○小学生対象の認知症サポーター養成講座（会場：高川図書館 共催：緑地地域包括支援センター高川分室） ○「2025年大阪・関西万博に向かってめざそう！『10歳若返り』展示」（市内8館で巡回展示 令和5年10月～令和6年5月） <その他> ○図書館 Web サイト上の闘病記リストの更新
多文化共生	<選書> ○とよなか国際交流協会を通して、市内在住の外国語を母語とする人へ読みたい本・必要とする本（外国語で書かれたもの）のニーズ調査を実施 ○書店が開催する外国語資料の選書イベントに参加 <多文化コーナーのPR> ○「日本語教室」（会場：庄内公民館 主催：とよなか国際交流協会）での情報提供（関連資料のリスト・外国語版の「豊中市立図書館を使う方へのお知らせ」（貸出のきまり）を配布、図書の展示） ○庄内図書館常設展示「ヒトハコ図書館」で外国語の子どもの本を展示・貸出 ○「さくらアートマルシェ」における「タイの文化体験会」にてタイ語の資料を展示（会場：庄内コラボセンター 主催：しょうない SakurART 第二期） <配本・貸出> ○とよなか国際交流協会への外国語資料の配本・貸出
ビジネス・就労	<ビジネス・就労支援サービスのPR> ○パスファインダー「業界動向」「事業を始める・起業」「特許・知的財産」「就職・転職」「事業承継」の改訂 ○千里図書館ビジネス・就労支援コーナーにて月替わりのテーマ展示を実施 <貸出> ○「とよなか起業・チャレンジセンター」へのビジネス・就労支援関連資料の貸出

子育て・DV	<一時保育の開始> ○岡町、千里、野畑図書館で「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～」を9月より実施 <子育てスペースの拡張> ○岡町、東豊中図書館 乳幼児スペースなどを設置 ○野畑図書館 子育て応援コーナーを設置 <展示> ○児童養護施設パネル展と関連図書の展示・貸出 (会場：岡町図書館 主催：児童養護施設・大阪水上隣保館 翼)
--------	---

◆ 団体へのサービス

学校、放課後子どもクラブ、幼稚園、保育所（園）、こども園、高齢者施設、障害者施設や、子ども文庫、おはなしボランティアグループ、読書会などの市内の活動グループに資料貸出などの支援をおこなっている。

<学校図書館>

学校内での児童・生徒のリクエスト対応の支援や、調べ学習に使用する資料の提供などを実施している。

公共図書館司書と学校司書との地域館交流会は年に2回開催。公共・学校間およびエリアの学校間での情報交換などをおこない、連携事業をすすめている。小中学校の児童・生徒が作成したおすすめ本のPOPなどを展示するとともに、紹介された本の展示・貸出をおこなった館もあった。

野畑図書館では、こども室の一角に「学校の授業で使われた本」を展示。図書館ウォークラリーも開催した。

高川図書館では、夏休みスタンプラリーを実施したほか、第十二中学校の生徒が小学生に向けておこなう紙芝居会のために資料の選書と提供、中学生・小学生双方の感想の掲示をおこなった。また、担当エリアの小中学校卒業生全員にYAコーナーのPR文を配布。小中学校教員には豊中市立図書館の利用方法に加え、教員支援用資料の検索方法やその貸出ベストを紹介した。

令和5年度は小中学校図書館への貸出冊数は前年比8.9%減。

■小中学校図書館への貸出冊数 45,894冊

<学校図書館支援ライブラリー>

学校図書館の「読書」「学習・情報」「教員支援」の3つの機能をサポートしている。

令和5年度は魚の図鑑の追加購入や、「災害・防災」関連の新しい資料を購入、サポートパックへ追加した。また新たな教科書に対応できるよう、情報・メディアリテラシー関連の本も購入し、学校図書館のニーズに込えている。

<幼稚園・保育所（園）・こども園・放課後子どもクラブなど>

幼稚園・保育所（園）・こども園・家庭保育所・認可外保育施設に団体貸出をおこなっている。季節や行事などに関係する資料や、平和・家族・仕事などのテーマの資料に関するリクエストも多い。貸出や受取場所などについて各施設の相談にも応じ、選書・配本など支援している。

放課後こどもクラブへは、申込があった 30 校に団体リサイクル本「ひと箱おまかせパック」を配達した。

<子ども文庫>

市内の子ども文庫は13文庫。そのうち「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」加入は9文庫。それぞれの地域で子どもに本を手渡し、子どもの育ちを見守る活動が続けられている。子どもの身近な居場所として、また、子どもをとりまく大人の交流の場として地域に根づいている。図書館は長期の団体貸出や必要なテーマの資料を提供するなど文庫活動の支援につとめている。

「子どもと本のまつり」（共催：豊子連）は7月に開催。5つのおはなし会と手作り工作をおこなった。国際交流の会とよなか（TIFA）協力のもと、タイ語とスペイン語による多言語おはなし会も実施した。「子どもと本のつどい」（共催：豊子連）では、絵本作家の岡田よしとかさんを講師に「岡田よしとかまるごとライブ」を11月に開催し、絵本原画展も同時期に10日間開催した。



「子どもと本のまつり」



「子どもと本のつどい 岡田よしとかまるごとライブ」

<おはなしボランティア>

令和 5 年度も多くボランティアグループがおはなし会の回数や人数などに応じたプログラム作りを工夫し、図書館では選書や打ち合わせの機会に相談を受けるなど活動をサポートしている。一方で、新型コロナウイルス感染拡大防止のために休止となったままの活動もある。放課後こどもクラブや病院などでの読み聞かせは、再開に向けて方法を模索中である。図書館に関連する各グループの活動内容については「市民との取り組み事業」（9 ページ）を参照。

岡岡図書館では「子どもと本をつなぐボランティア講座」（全 6 回）を実施したほか、「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」として、神戸教育短期大学絵本専門士育成講座講師の尾野三千代さんによる講演「子どもに本を手渡すために～子どもに定番絵本の読み聞かせを～」を開催した。

<「りんごの棚」展示セット>

特別なニーズのある子どもたちの読書の手段を知るために「りんごの棚」展示セットの貸出をおこなっている。6 校の小学校のほか、様々な施設で 15 回展示がおこなわれた。小学校では、図書の時間での活用のほか、人権参観や人権講演会に合わせて紹介されたりした。「初めて見る資料に子どもたちは興味津々であった」「多くの児童が読んだり触れたりしていた」などの声が寄せられた。支援学級に通う児童や外国にルーツがある親子など、特別なニーズのある子どもたちに資料を届けるきっかけにもなっており、好評を得ている。

◆ 障害者サービス

令和 5 年度は重度の身体障害や知的障害、精神障害などにより図書館への来館が困難な利用者を対象に印刷（墨字）図書の郵送貸出サービスの PR に取り組んだ。

障害福祉センターひまわりとの共催で、夏休みに小学生とその保護者を対象に「おやこ点字体験教室」を開催した。図書館からは点字図書やさわる絵本を紹介し、普段点字に触れることの少ない子どもたちが自ら点字を打ち、様々な資料にふれる体験を通し、視覚障害者やボランティア活動への理解が深まる機会を設けた。

音点訳図書の製作候補の選定にあたっては例年同様に個別に聞き取りをし、利用者のリクエストも反映できるようにした。製作されたデータは豊中市立図書館から国立国会図書館・サピエ図書館^{*1}を通して提供している。新しく製作した音声デイジー図書^{*2}はすぐにリクエストが入るなど全国の利用者からのニーズも高い。また、所蔵のない音訳図書については、製作ボランティアにプライベート音訳として製作を依頼するなど、様々なニーズに応えた。例年通り「音訳ボランティアフォローアップ講座^{*3}」を 2 回実施した。

点訳については令和 4 年度に引き続き外部機関に印刷（墨字）図書のテキストデータ化を依頼し、図書館で点字データに変換した後、製作ボランティアの点字校正を経て、点字図書として提供する試みをおこなった。

Daigas グループ小さな灯運動から、プレクストーク PTN3^{*4}の寄贈があった。また、図書館でも新たに 10 台購入し、利用者へ貸出している。伊藤忠記念財団からマルチメディアデイジー図書「わいわい文庫」の寄贈があった。

また、障害者サービスについて広く知ってもらうため、岡町図書館でテーマごとの展示をおこない、障害者サービスの対象ではない来館者からも関心を持ってもらうきっかけになった。

図書館協議会から図書館での読書バリアフリーの取り組みについて、「豊中市立図書館における読書バリアフリーの取り組みのあり方について（報告）」の提出を受けた。すべての人の「わたしの図書館」をめざし、今後もアウトリーチサービスの充実はもとより、多様化するニーズに応えられるようサービスの提供につとめる。

*1 音点訳図書をはじめとする障害者用資料の所蔵施設などが調べられる全国的な書誌データベース。

*2 音声情報を圧縮して記録した録音図書。

*3 音訳ボランティアの技術向上のため実施している講座。

*4 視覚に障害のある人が読書するための卓上型音声デイジー図書再生機。

◆ 図書室

利倉西センター図書室には約 5,500 冊の資料があり、週 2 回午後 2 時から午後 5 時まで開室している。猪名川の西側にある共同利用施設利倉西センターに併設しており、利倉西町 1 丁目・2 丁目にお住まいの方を中心に利用されている。

■貸出人数 2,167 人 ■継続貸出を除く個人貸出冊数 7,159 冊

◆ 図書サービスポイント

いぶき（3F）図書サービスポイントは、青少年交流文化館いぶき内にて、週 2 回午後 1 時 15 分から午後 4 時 45 分までサービスを提供。

令和6年2月施行の「図書サービスポイントに関する要綱」により「いぶき（3F）サービス」から「いぶき（3F）図書サービスポイント」と名称を変更した。サービス内容は、①予約確保資料の受け取り②貸出資料の返却③リクエスト票の預かりなどである。

豊中駅図書サービスポイントについては、トピックスの「豊中駅図書サービスポイントを開設」（4ページ）を参照のこと。

[いぶき（3F）図書サービスポイント]

■貸出人数 2,863人 ■継続貸出を除く個人貸出冊数 6,153冊

[豊中駅図書サービスポイント]

■貸出人数 3,932人 ■継続貸出を除く個人貸出冊数 7,540冊

※豊中駅図書サービスポイントは令和6年2月6日よりサービス開始

◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス

図書館から離れたエリアや来館が困難な子どもたちの通う児童発達支援施設など合計20か所へ、動く図書館車で約4週間に1回ずつ巡回サービスをおこなった。動く図書館車の積載冊数は約3,000冊と限られているが、定期的な資料の入れ替えや月ごとの特集展示をおこなうなど、いつ見ても新しい資料を手にとりただけるよう心がけた。30～40代の子育て世代や学齢期の子ども、後期高齢者など、遠くまで出向くことが難しいと思われる人によく利用されている。今後も来館が困難な人のためのアウトリーチサービスの一環として、新たな施設配置での利用状況に応じて、利用者一人ひとりのニーズをくみ取りながら多様な資料を届けていきたい。



都市緑化植物園入口前

施設巡回ステーションについては、児童発達支援事業所あゆみが児童発達支援センターの建物へ転居したこととともない、令和6年1月に「児童発達支援事業所あゆみ」を廃止、「児童発達支援センター」の時間を延長し、引き続きサービスを利用していただいている。また、一般ステーションでは、「日商岩井第1緑地公園マンション」について、より安全にご利用いただくために、令和6年3月から、「都市緑化植物園入口前」へ移転した。



あおぞらおはなし会月間

令和5年度は、11月に「あおぞらおはなし会月間」を実施した。以前は、「堀田公園」のみでおこなっていたあおぞらおはなし会であったが、令和5年度は天候やスペースなどの面で可能な限りすべてのステーションで実施した。うち2か所のステーション（「朝日プラザ千里A棟前」・「堀田公園」）についてはおはなしボランティアグループと図書館職員でおこない、合計11か所で、大人66名・こども73名・合計139名の方にご参加いただいた。また、豊中支援学校にて「おはなし会がやってきた！」をおはなしボランティアグループと図書館職員でおこなった。プログラムにはパネルシアター、手遊びや歌も取り入れ、クラスごとにさまざまな反

応が見られた。今後も「あおぞらおはなし会月間」や「おはなし会がやってきた！」を通じて、子どもたちが本に出会い、その楽しさを知ってもらう機会としたい。

■貸出人数 7,159人

■継続貸出を除く個人貸出冊数 49,309冊

◆ ブックスタート事業「えほんはじめてして」

絵本を通して赤ちゃんと保護者が楽しいひとときを過ごし、心ふれあう時間を持つきっかけとなることを目的とし、子育て・子育て支援事業の一環として4か月児健康診査時に実施している。図書館とおやこ保健課、そして「豊中子ども文庫連絡会」・「おはなしボランティアポケット」をはじめとする市民ボランティアが連携・協働し、絵本を手渡してきた。この事業は、母語が外国語の人や障害のある人を含む、市内のすべての赤ちゃんとその保護者との関わりを持つ貴重な機会である。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したため、各方面から要望のあった以前のブックスタート事業（絵本の選択、読み聞かせの体験など）に持続可能な形で戻れるよう、関係課やボランティアスタッフと調整しながら取り組んだ1年であった。



ブックスタート「いっしょに絵本」写真展

コロナ禍以降、絵本を選べない状況が続いていたが、7月からは絵本をビニールパッキングして渡すことで、後で希望の絵本と交換することを可能にした。2月には庄内コラボセンター周年記念事業として、NPOブックスタートの「いっしょに絵本」写真展を庄内図書館と千里図書館で開催し、市民に事業を知ってもらう機会とした。また、令和6年度からボランティアスタッフによる絵本の読み聞かせを再開できるよう、研修やスタッフミーティングを実施するなど準備を進め、環境を整えた。

◆ 資料の収集と保存

収集に関しては毎週1回、職員で構成する選書委員会で、市内全図書館の資料の選書をおこなっている。「豊中市立図書館資料収集方針」（図書館Webサイトで公開）に基づき、市民の主体的な生涯学習活動を支援していくために市民の要望および社会の動向にも注視しながら、教養・調査研究・レクリエーション・ビジネス・日常の生活に役立つ資料を幅広く収集している。

また電子書籍については、職員で構成するデジタル図書館運営チームと選書委員会で選書をおこなった。令和5年度は毎月1回程度、新たな電子書籍を収集・所蔵することができた。統計を活用して利用の動向を鑑みながら、文字の拡大や、音声読み上げ機能など電子書籍の特性を考慮して選書をしている。

保存については、野畑図書館書庫を豊中市立図書館全体の書庫としている。それぞれの図書館で個々の資料について職員の合議による検討をおこない、保存している。

◆ 人権・平和に関する取り組み

市民向けの取り組みとして、講演会や各種資料展示・パネル展などを実施し、市民と職員がともに人権・平和について考える機会としている。

また、職員が人権について理解を深め、市民への啓発につなげるため、年3回の研修をおこなっている。

市民向け人権講演会・資料展示・パネル展等

人権講演会「絵本ライブとシンポジウム-絵本と人権/長谷川さんに聞いてみよう-」長谷川義史さん
 (会場：ローズ文化ホール 共催：人権平和センター豊中)

野畑地区人権講演会「無意識の差別を考える～社会のあり方と人権～」Facilitator's LABO〈えふら
 ぽ〉栗本敦子さん(会場：野畑図書館 主催：野畑公民分館、野畑小学校、野畑図書館)

人権講演会資料展示「長谷川義史さん絵本展示」(会場：岡町、庄内図書館)

講演と作品・資料展示 子ども読書活動連絡会・第1回連絡会：いつでもどこでもだれにでも「りんご
 の棚」貸出セットについて/第2回連絡会：さわる絵本について(会場：岡町図書館 対象：子ども読
 書活動連絡会委員)

作品・資料展示「読むことが困難な子どもたちの読書の手段を紹介する『りんごの棚』展」
 (会場：庄内、野畑図書館)

資料展示「戦争と平和の本(平和月間)」(会場：各図書館)

資料展示「男女共同参画週間連携展示2023(男女共同参画週間)」(会場：岡町 共催：すてっぷ)

資料展示「人権関連資料(人権月間)」(会場：各図書館 螢池図書館は通年)

参加型展示「平和の木」(会場：東豊中図書館)

作品・資料展示「小曾根小学校6年生平和学習新聞」(会場：高川図書館)

作品・資料展示「第四中学校夜間学級作品展」(会場：岡町、東豊中、服部、高川、螢池図書館)

資料展示「認知症の高齢者の人権に関する本」(会場：高川図書館)

スタンプラリーカードで子ども向け本の紹介と展示「平和に関する本」(会場：高川図書館)

パネル・資料展示「児童養護施設パネル展」(会場：岡町図書館)

作品展示「原田小学校6年生平和学習の作品」(会場：岡町図書館)

職員研修

「図書館資料の取り扱い事例から人権問題を考える」：豊中市立図書館全体の合同研修。豊中市立図書館
 における人権問題資料と利用制限資料説明、人権問題資料検討委員会の1年間の活動報告、『ちびくろさ
 んぽ』『ピノッキオのぼうけん』『古地図』それぞれについて説明と意見交換。

「障害者への対応、配慮について」(大阪府立図書館出前講座)：動画視聴と職員間でガイドの練習。

「事例から学ぶ同和研修」：動画視聴とグループワーク

「豊中市職員のための部落差別事象発生時の対応マニュアルについて」：マニュアル改訂にともない改定
 後のマニュアルを読み込み今後の業務に活かせるよう理解を深める。終了後意見交換。

「リスペクトアザース」(法務省監修、人権教育推進センター動画)：視聴、職員間での感想共有。

◆ 研修

会場参加の研修が再開されたが、リモートと選択可能な研修も多数開催され、貴重な研修の機会となった。

月末の館内整理日を利用し、京都橘大学の嶋田学氏を講師に迎え「これからの豊中市立図書館を考える～図書館経営とフォローアップという当事者意識～」を全職員で受講した。

専門研修は、障害者サービスについて著作権・接遇などをより専門的に学ぶことにつとめた。児童サービス・参考業務・学校図書館などのテーマについては継続して取り組んでいる。図書館司書専門講座にも職員を派遣し、リモートも含め「図書館行政の動向」・「図書館とともに創る地域の未来」など19講座を受講した。

令和4年度に引き続き、教育委員会事務局各課の紹介動画を視聴し、各職場の業務内容を共有した。また、行政職員として「接遇研修」・「電話対応研修」・「クレーム対応研修」や、契約事務などの知識や技術習得のため庁内研修を受講した。

職員が受講した主な研修（職場研修、個人研修含む）

専門研修	一般研修
公共図書館と学校との合同研修	人権研修
令和 5 年度大阪府図書館司書セミナー	情報セキュリティ研修
図書館司書専門講座	電話対応研修
令和 5 年度大阪公共図書館協会 児童サービス基本研修・実務研修	障害者当事者から学ぶ人権と接遇
図書館員・音訳者のための著作権セミナー	接遇研修
大阪公共図書館協会 障がい者サービス基本研修	クレーム対応研修
大子連児童文化講座	契約事務研修(制度編)(実務編)
講演と新刊紹介 2022 年に出版された子どもの本	教育委員会事務局業務内容紹介研修
令和 5 年度 新任図書館長研修	計 30 講座 1118 人参加
大阪公共図書館協会 参考業務実務研修	
ICT 機器と学び支援	
おはなしボランティアフォローアップ研修講座	
アジア資料書誌作成セミナー	
サピエ研修会	
障害者サービス担当職員向け講座	
地域福祉ネットワーク会議こども部会研修会	
障害者接遇研修	
奈良県図書館研究大会	
豊中市立図書館職員研修会	
計 48 講座 141 人参加	

6. 情報発信（広報・広告など）

市民サービスの向上および地域の活性化をはかるため、各種媒体を活用した情報発信・広報・広告事業をすすめている。

令和5年度は、令和4年度に続いて「とよなかデジタル・エキスポ」に出展、往来の多いせんちゅうパルの広場で豊中市デジタル図書館のアピールをおこなった。また、広報誌の裏表紙で同サービスのPRを実施したことから、これまで図書館を利用していない層からも反響があった。また久しぶりに図書館の利用を再開するケースも多く見られ大きな利用促進となった。

教育委員会の公式X（旧Twitter）では、各種サービスや行事の発信、新着資料の紹介などを随時おこなっている。「とよなかっ子ライン」（こども支援課）においても、児童・生徒に向けて本の紹介を月1回おこなっている。その他、「はぐくみセンター公式X【ほっぺちゃん通信】」（豊中市立子育て支援センターほっぺ）や、子育て・子育て応援アプリ「とよふぁみ」（こども政策課）でも、行事の情報などを随時発信した。

また以下のメディアに豊中市立図書館に関する記事などが掲載された。

メディア掲載一覧

タイトル・内容等	メディア		種類
記事：大阪府豊中市、「豊中市立図書館みらいプラン」を策定	カレントアウェアネス-R	2023.4	Web
記事：東豊中図書館に飲食スペース「もぐもぐ広場」を新設	PR TIMES	2023.6	
記事：東豊中図書館（大阪府豊中市）、館内に飲食スペースを設置	カレントアウェアネス-R	2023.6	
記事：東豊中町にある「東豊中図書館」に親子で飲食ができるスペース「もぐもぐ広場」ができて／「図書館内で飲食OK?」「本の持ち込みは?」実際に子どもと一緒に行って話を聞いてみた	TNN豊中報道.2	2023.7	
記事：-豊中市-市立図書館で一時保育を開始 岡町図書館・千里図書館・野畑図書館で実施	City Life News	2023.8	
記事：ほっと一息 私の時間 市立図書館で一時保育を開始	PR TIMES 等	2023.8	
記事：豊中市立図書館（大阪府）、図書館で保育士が子どもを預かる「図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～」を開始：2023年9月から	カレントアウェアネス-R	2023.8	
告知：【豊中市】市立図書館で「10歳若返り」展示を開催します！	大阪府「10歳若返り」プロジェクト	2023.10	
告知：「生きるって、なに?～自分らしく生きて、自分を好きになろう!」講演会(庄内図書館)	たかのてるこ公式X	2023.11	
記事：【豊中市】東豊中図書館にある、誰でも利用することができる「もぐもぐ広場」をご存じですか？	号外NET豊中市	2023.11	
記事：豊中市の中央図書館 曽根駅前の民有地に	建通新聞 電子版	2023.11	

記事： ・「豊中市（仮称）中央図書館」の第一優先候補地が曾根駅近くの「曾根東町」周辺に選定されたみたい ・「豊中市（仮称）中央図書館」の第一優先候補地が「曾根東町」周辺に選定されたことで「身近な（その他の）図書館」はどう変わるのか？／豊中市役所 読書振興課の職員さんに話を聞いてきた	TNN豊中報道。2	2023.12	Web
記事：【豊中市】資料点検のため休館になる図書館があります！	号外NET豊中市	2024.1	
記事：【大阪・豊中市】新築の民間施設内に中央図書館/28年度完成目指す	建設通信新聞 WEB刊	2024.1	
記事：-豊中市-阪急豊中駅舎内で本の受け取り・返却が可能に 2月6日から図書サービスポイントを開設	City Life News	2024.1	
記事：阪急豊中駅舎内で本の受け取り・返却が可能に 図書サービスポイントを開設	PR TIMES	2024.1	
記事：阪急豊中駅で本の受け取り・返却が可能に 豊中市、図書サービスポイントを設置 2月6日より	AMP[アンプ]	2024.1	
「もぐもぐ広場」新設と「図書館で一時保育」の開始について	FM千里	2023.9	ラジオ
記事：カタカナの「へ」とひらがなの「へ」の違いどう説明する？ レファレンスの回答事例を紹介(職員が登壇したフォーラムの紹介)	京都新聞	2023.4	新聞
記事：わかりやすく「平和」語る 絵本作家、長谷川さん講演会参加募集 来月9日・豊中	毎日新聞大阪府版・兵庫県版	2023.7	
記事：豊中市図書館一時保育 3施設で月1回乳幼児対象	読売新聞	2023.8	
記事：学校と市の図書を一体的に管理 授業での積極的な活用へ～豊中市	教育家庭新聞	2023.9	
記事：記録を残す⑤（北摂アーカイブスの紹介）	朝日新聞(首都圏・近畿圏・福岡・札幌)	2024.1	
紹介：豊中市庄内さくら学園・豊中市庄内コラボセンター（庄内図書館写真掲載）	新建築	2023.10月号	雑誌
記事：図書館が生まれた	図書館の学校	2023.夏号	機関誌・PR誌
記事：【報告】ショコラ(庄内コラボセンター)でこんなこともやっています！（しょうないおやこでにほんごと図書館展示スペースでのイベントの紹介）	こくりゅうだより	2023.11月号	
告知：ちゃぶ台集会「本とともに語られるライフストーリー～本に関わる仕事人のお話～」(ゲストスピーカー：庄内館長)	tane (たね)	2023年 vol.6	機関誌・PR誌
記事：「赤ちゃんと図書館へ行こう！」(図書館の案内)	まみたん北摂版	2024.3	ミニコミ誌

6・7月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、新ステーション「アトリオとねやまこども園前」案内	ふるさと刀根山	2023.6	校区広報誌
10・11月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、 「動く図書館 あおぞらおはなし会月間」案内		2023.9	
12・1月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、 「動く図書館 あおぞらおはなし会月間」開催報告		2023.12	
3・4月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、 「豊中駅図書サービスポイント」開設のお知らせ		2024.3	
「地域の記憶を 地域の記録へ」地域住民と歩む北摂アーカイブスの取組み	図書館とコミュニティアセット	2023.5	図書

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

各種イベントや講座会場など市内外のさまざまな市民参加の場に出向いて、関係機関と連携しながら講座や資料提供をおこなっている。テーマにそった関連資料を紹介・提供し、子どもから大人まですべての世代が読書に親しむ機会や、より広く深く情報を得られる機会となるようつとめている。

令和5度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったことにより、オンラインでの開催とともに、対面での講座や視察の受入も増えた。

出前講座

＜子育て中の保護者を対象にした絵本講座＞
「子育てサークル・子育てサロン」「千里親子ふれあい広場」
「～えほんのひろば～よみきかせを楽しもう」（とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ）
「みなさくおはなしタイムフォローアップ講座（南桜塚小学校 PTA）」等
＜学びの場での子どもの読書に役立つ図書館活用講座＞
「新任学校司書研修」「校内研修」「マチカネ先生塾」
＜（仮称）中央図書館関連講座＞
「（仮称）中央図書館基本構想について」「豊中市立図書館みらいプラン」

各種講座での資料・図書館紹介

「認知症サポーター養成講座」「認知症サポーター養成講座（小学生対象）」「公民館各種講座」等

講師派遣

- ・学校図書館の活用と図書館利用教育（真庭市立中央図書館）
- ・「変わる図書館！コロナ後の最新図書館事例」（New Education Expo）
- ・トークイベント「本とともに語られるライフストーリー～本にかかわる仕事人のお話～」（市民公益活動センター）
- ・講演「デジタルアーカイブの可能性と重要性」（泉大津市立図書館（シーブラ））

視察受入

- ＜視察＞ （ ）は受入施設
- ・ 益田市教育委員会協働のひとづくり推進課：千里図書館サービス全般（千里図書館）
 - ・ 門真市教育委員会：豊中市図書館等、読書活動支援システム（読書振興課）
 - ・ 和歌山県議会：学校図書館における子どもの読書とその影響（学校教育課・読書振興課）
 - ・ 西宮市立図書館：セルフ予約棚、図書館ゲートシステム（千里図書館）
 - ・ 名寄市立図書館・名寄市総合政策課：デジタル化、課題解決、YA サービス、複合施設の活用、夜間開館時の利用状況（岡町、庄内、千里図書館）
 - ・ 大分市議会：図書館で一時保育（岡町図書館）
 - ・ 大阪府教育推進連盟豊能支部：教員支援資料の案内（螢池図書館）
 - ・ 北九州国際交流協会：外国につながる子どもへの読書支援の調査協力等（読書振興課）
 - ・ 青山学院大学准教授 庭井史絵氏：教員支援資料等の調査（庄内図書館・読書振興課） 等
- ＜インターンシップ・実務研修＞
- ・ 大阪芸術大学：図書館実習（千里図書館）
 - ・ 京都橘大学：図書館ボランティア（岡町図書館）

8. 図書館協議会

令和5年度は3回（7、11、3月）開催された。

「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」を推進するなか、市内の外国人市民の増加を踏まえ、豊中市立図書館における多文化サービスのあり方について議論をおこなった。

会議録は図書館 Web サイトで公開している。

令和5年度の委員一覧

名 前	団 体 名・役 職 等
橋 本 真 理	小学校長会代表
道 上 博 行	中学校長会代表
永 富 奈 緒 美	こども園長会代表
樋 口 弘 子	豊中図書館の未来を考える会
天 瀬 恵 子	豊中子ども文庫連絡会
◎ 瀬 戸 口 誠	学識経験者
○ 福 井 佑 介	学識経験者
山 本 晃 輔	学識経験者
中 西 真 弓	市民公募

◎委員長 ○委員長職務代理者

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有をはかる仕組みとして、平成20年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下、「評価システム」）を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。毎年の評価項目・指標については「豊中市の図書館活動Ⅱ 統計・資料」に簡略化して掲載している。

それまで「評価システム」でおこなっていた進捗管理を「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）」（以下、「グランドデザイン」という。）の策定を機に、平成 26 年度からは「グランドデザイン」の進行管理と一体化した。さらに、令和 2 年度は「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下、「基本構想」という。）の策定に際し、「グランドデザイン」の目標設定や進行管理は基本構想に包含する形で継承されることとなった。

令和 5 年度は、「基本構想」の進行管理する 6 つの指標を含んだ「豊中市図書館評価項目表」に成果を反映させた。来館者アンケートに限らず、「基本構想」を推進する上で実施している様々な対象別アンケート調査などから市民の意見・要望を読み取り、現在の図書館サービスの改善と向上に取り組んでいく。

10. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

夏休みに、休館日の図書館（岡町、庄内、千里、野畑図書館）を利用し、学校図書館司書と公共図書館司書が連携して、小学校 4～6 年生の児童が調べ学習の一連の流れを体験する「知的探究合戦 めざせ！図書館の達人」を開催した。その優勝 4 チームの表彰と、市立中学校生徒を対象とした「豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会」をあわせて、豊中市立文化芸術センター小ホールで「子ども読書活動フォーラム」を開催し、児童生徒の成果発表の場として、読書活動・学習活動の活性化をはかった。また、学校図書館等読書活動支援システムの一部を更新した。

11. （仮称）中央図書館基本構想

「豊中市（仮称）中央図書館基本構想（以下、「基本構想」という。）」の推進にあたり、令和 5 年度に実施した主な取り組みは以下のとおり。

◆（仮称）中央図書館の第一優先候補地の選定

令和 5 年 3 月「豊中市立図書館みらいプラン（以下、「みらいプラン」という。）」を策定し、公有地と民有地を合わせ 3 か所の候補地を公表した。

それを受け、令和 5 年度は庁内に選定委員会を設置。アクセス性や利便性、財政負担、周辺地域等への影響などから評価し、審議をおこない、阪急電鉄宝塚線曽根駅前の民有地を第一優先候補地として選定した。

◆（仮称）中央図書館をつくろうワークショップ

（仮称）中央図書館の整備に向けて、市民の意見やアイデアを参考とするため、ワークショップを実施した。市内の 3 か所を会場に、中央図書館での過ごし方のイメージをふくらませ、必要な機能や諸室間のつながりなどをテーマに自由に意見交換をおこなった。小学生からシニア、子育て世帯、視覚に障害のある人などの参加があり、多様な観点から考えを深める機会となった。

- 参加人数 岡町図書館：21 人
庄内コラボセンター「ショコラ」：11 人
千里文化センター「コラボ」：14 人

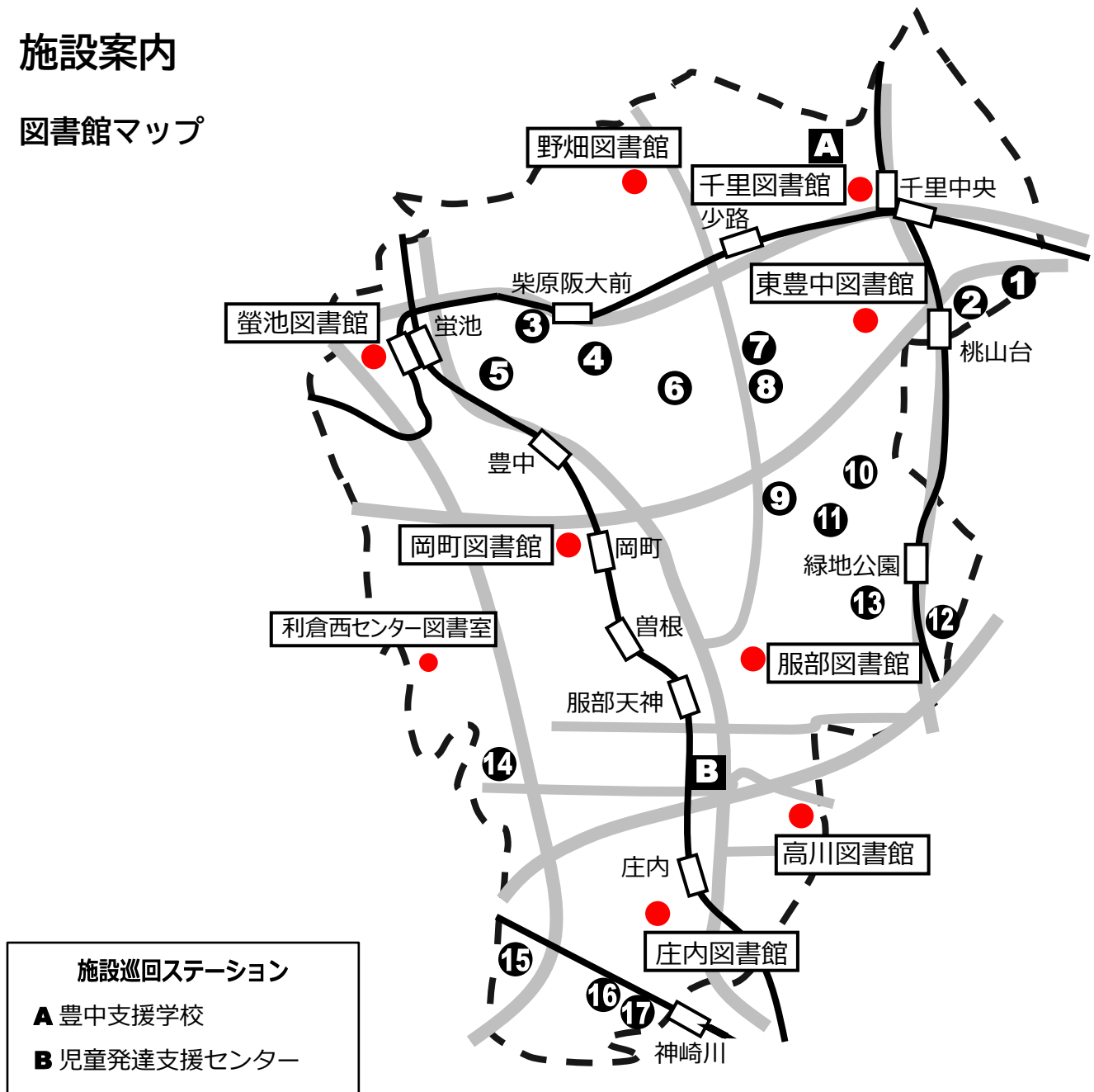


◆ その他、市民との関係づくり

取り組みを市民と共有するため「図書館みらい通信」を 12 回発行した。事業の進捗を説明する説明会を 4 回、出前講座を 5 回にわたり実施し、「みらいプラン」の周知に取り組んだ。また、高校生や子育て世帯、障害者グループの協力を得て、中央館の機能や運営に関するアンケート調査をおこなった。

施設案内

図書館マップ



令和 6 年 3 月 31 日現在

動く図書館ステーション

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ① 上新田 4 (朝日プラザ千里 A 棟前) | ⑩ 東泉丘 4 (ジオ緑地公園 3 番館) |
| ② 上新田 4 (桃山台グリーンマンション) | ⑪ 西泉丘 2 (グランドールマンション) |
| ③ 刀根山元町 (刀根山元町北会館) | ⑫ 東寺内町 (寺内南公園) |
| ④ 刀根山 2 (天理教会高香分教会) | ⑬ 寺内 1 (都市緑化植物園入口前) |
| ⑤ 刀根山 4 (アトリオとねやまこども園前) | ⑭ 上津島 2 (上津島センター) |
| ⑥ 本町 9 (住友化学社宅 4 号棟前) | ⑮ 庄本町 3 (そんぽの家豊中庄本町横駐車場) |
| ⑦ 上野東 2 (堀田公園) | ⑯ 二葉町 1 (市営二葉第二住宅) |
| ⑧ 上野東 1 (豊松園ハイツ B 棟前) | ⑰ 大島町 2 (洲到止八幡宮) |
| ⑨ アルビス旭ヶ丘 (6-4 号棟北側) | |

施設概要

館 名	設置年月 構 造	蔵書 冊数	敷地面積 専用床面積	その他施設概要
岡町図書館 岡町北 3-4-2 6843-4553	昭和 20 年(1945 年) (平成 4 年 5 月改修) 鉄筋コンクリート造 4 階建/ 地下 1 階	約 23.3 万 冊	1,309.09 m ² 3,272.08 m ²	
服部図書館 服部本町 5-2-8 6862-0800	平成 11 年(1999 年)1 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 5.9 万冊	2,282.39 m ² 708.29 m ²	複合施設 服部介護予防センター
庄内図書館 庄内幸町 4-29-1 庄内コホセンター内 2 階 6334-1261	昭和 50 年(1975 年)7 月 (令和 5 年 2 月移転) 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 7 万冊	4,890.95 m ² 1113.38 m ²	複合施設 庄内公民館 子育て支援センター ほっぺ南部分室 市民公益活動支援センター 庄内保健センター こども・教育総合相談窓口 市役所庄内出張所 豊中しごと・くらしセンター 庄内介護予防センター
高川図書館 豊南町東 1-1-2 6336-6901	平成 12 年(2000 年)6 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 6.5 万冊	1,563.11 m ² 1,257.90 m ²	複合施設 高川スポーツルーム 高川老人憩の家 高川介護予防センター
千里図書館 新千里東町 1-2-2 千里文化センターコホ内 4 階 6831-0225	昭和 53 年(1978 年)4 月 (平成 20 年 2 月リニューアル) 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 14.4 万 冊	3,089.29 m ² 1,731.81 m ²	複合施設 市役所新千里出張所 千里保健センター 千里公民館 千里介護予防センター
東豊中図書館 東豊中町 5-2-1 6856-4660	平成 5 年(1993 年)11 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 5.8 万冊	3,173.54 m ² 1,068.58 m ²	複合施設 ゆたかこども園
野畑図書館 春日町 4-11-1 6845-2400	昭和 63 年(1988 年)6 月 鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建/ 地下 1 階	約 31.7 万 冊	2,000.01 m ² 3,846.46 m ²	
蛍池図書館 蛍池中町 3-2-1-502 ルシオーレ内 5 階 6840-8000	平成 15 年(2003 年)5 月 鉄骨鉄筋コンクリート造 7 階建	約 4.6 万冊	3,762.59 m ² 672.98 m ²	複合施設 蛍池公民館 パスポートセンター 豊中市教育センター 蛍池老人憩の家 商業施設
動く図書館 岡町図書館より出動	昭和 25 年(1950 年)	約 3,000 冊	ステーション 17 か所 施設 2 か所	
利倉西センター図書室 利倉西 1-4-22	平成 29 年(2017 年)7 月	約 5,500 冊	※動く図書館・図書室は岡町図書館所属	

休館日・開館時間

岡町図書館 庄内図書館 野畑図書館	毎週月曜日（その日が休日* ¹ に当たるときはその翌日以降の最初の休日に当たらない日） 12月29日から翌年1月4日（1月4日が月曜日に当たるときは1月5日）まで 館内整理日（8、12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日* ² に当たるときはその前日）、特別整理期間
千里図書館	12月29日から翌年1月4日まで 館内整理日（12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
東豊中図書館 服部図書館	毎週月曜日（その日が国民の祝日に当たるときはその翌日以降の最初の国民の祝日に当たらない日）、12月29日から翌年1月4日（1月4日が月曜日に当たるときは1月5日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
高川図書館 螢池図書館	毎週金曜日（その日が国民の祝日に当たるときは、その前日以前の最初の国民の祝日に当たらない日）、12月29日から翌年1月4日（1月4日が金曜日に当たるときは1月5日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12月を除く毎月最終木曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間

*¹ 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。以下同じ。

*² 同法第2条に規定する国民の祝日をいう。以下同じ。

		成 人 室	こ ども 室	参 考 室	
岡町図書館	火～金	10 時～19 時	10 時～17 時		
庄内図書館	火～金	10 時～19 時			
千里図書館	月	10 時～17 時			
	火～金	10 時～20 時			
野畑図書館	火～金	10 時～19 時			
高川・螢池図書館	月・水	10 時～19 時			
	火・木	10 時～17 時			
東豊中・服部図書館	火～金	10 時～17 時			
豊中駅図書サービスポイント	火～金	10 時～20 時			
※ 上 記 は 、 土 ・ 日			10 時 ～ 17 時		
利倉西センター図書室	水・日	14 時～17 時			
いぶき（3階）図書サービスポイント	水・土	13 時 15 分～16 時 45 分（青少年交流文化館いぶき内）			

※祝日開館の場合は10時～17時（岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、服部、高川、螢池図書館、豊中駅図書サービスポイント）

※休日開館の場合は10時～17時（岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、服部図書館、豊中駅図書サービスポイント）



豊中市デジタル図書館
QRコード



発行日	令和6年(2024年)9月発行
編集・発行	豊中市立岡町図書館
	https://www.lib.toyonaka.osaka.jp